

# 総合診療科・感染症科

はじめに

当院は、約 700 床を有する専門医療を主体とした広島県の基幹病院であり、臓器別に高い専門知識と技能を持つ専門科医師が最先端の診療にあたっています。一方で、高齢化により複数の臓器に問題を抱えた患者さんが増加しており、平成 8(1996)年に総合診療科を開設しました。私たちは一つの臓器にとらわれず、患者さんの全体像を把握しながら、個々の問題を解決するよう心がけています。

当科は総合的な内科診療にとどまらず、感染症にも力を入れてきました。平成 24(2012)年に広沢秀泰医師が沖縄県立中部病院感染症内科で半年間、平成 25(2013)年に岡本健志医師が洛和会音羽病院総合診療科と感染症科で半年間研修に従事しました。平成 27(2015)年 4 月より沖縄県立中部病院感染症内科から谷口智宏医師が加わり、平成 29(2017)年度からは“総合診療科”から“総合診療科・感染症科”に改名され、感染症診療をより積極的に行っています。

私たちは、患者さんの抱えている問題解決のために、問診(History taking) & 身体診察(Physical examination)を丁寧に行い、出来る限り最小限の検査を通じて速やかに診断し、治療できるように心がけています。

## 【一般目標】

- 1) 患者さんの病歴聴取(History taking)と身体診察(Physical examination)を重視し、繰り返し丁寧に行うことで基礎となる診療能力を習得する。
- 2) 多くの症例を経験し、自ら考え、対処する知識、技能、思考分析法、問題解決能力、態度を習得する。
- 3) 基本的臨床手技を習得する。
- 4) 内科疾患を出来る限り多く受け持ち、病態、症候、診断、治療、予後を学ぶ。

## 【到達目標(行動目標)】

- 1) 問題志向型システム・科学的根拠にもとづいた医療を実践することができる。
- 2) 全身状態とバイタルサインの評価を正確に行うことができる。
- 3) 全身の診察を正確に行うことができる。
- 4) 診療記録と症例のプレゼンテーションを正確に行うことができる。
- 5) 感染症診断のために必要な各種診断法の種類、特徴、結果の臨床的意義について理解し、説明することができる。一部の診断法(グラム染色、チールニールセン染色など)については、指導医の指導・監視の下に自分で実施することができる。
- 6) 指導医、主担当医、担当医、臨床研修医、学生からなるチーム医療下で屋根瓦方式の教育指導体制の中で自らの役割を理解し、チームの一員としてプロフェッショナリズムをもって働くことができる。

## 【注意事項】

- 月曜日は 9:00 に東病棟 8 階のナースステーションに集合して下さい。
- 総合診療科チームに参加し、その一員として診療業務を担当するので、ふさわしい態度と服装、言葉遣いを常に心がけること。
- 守秘義務、個人情報の管理に留意し、患者さんのプライバシー保護に配慮すること。
- 欠席、遅刻する際には、必ず緊急連絡先(082-254-1818)に連絡すること。
  - 緊急連絡先:総合診療科 岡本健志(おかもと たけし) PHS 2404.  
総合診療科 谷口智宏(たにぐちともひろ) PHS 2964.  
総合診療科 広沢秀泰(ひろさわひでやす) PHS 2958.

## 【実習の内容】

### • 実習形態:

- 1) 病棟実習, 内科外来実習(予診中心), 救急外来実習を行います.
- 2) 個々の学生の知識, 技能, 態度の到達度, 希望に応じて適宜対応します.

### • 受け持ち症例:

- 1) 感染症(敗血症, 肺炎, 尿路感染症, 蜂窩織炎, 感染性胃腸炎など), 不明熱などの診断が困難な症例, 内科系のcommon disease(糖尿病, 脳梗塞後遺症, 心不全, 呼吸不全, 腎不全も含む)が中心ですが, 一部, 膠原病や高齢者における多臓器疾患, 悪性腫瘍なども受け持ちます.
- 2) 当科が過去5年間で経験した症例には, リウマチ性多発筋痛症, 多発性筋炎, 皮膚筋炎, 全身性エリテマトーデス, 巨細胞性血管炎, 成人発症Still病, 再発性多発軟骨炎, 菊池病, 甲状腺クリーゼ, Crowned dens症候群, 偽痛風, 後天性血友病, 悪性リンパ腫(血管内リンパ腫含む), 悪性貧血, SIADH, 非閉塞性腸管虚血症(NOMI), 虚血性腸炎, 感染性心内膜炎, 化膿性脊椎炎, 腸腰筋膿瘍, 肺外結核, 化膿性関節炎, 腎梗塞, 腎膿瘍, Fitz-Hugh-Curtis 症候群, デング熱, 重症熱性血小板減少症候群(SFTS), レプトスピラ症, ツツガムシ病, 日本紅斑熱, 伝染性単核症などあり, 多くの症例を経験できます.

### • 病棟実習

- 1) 学生が診療チームの一員として患者の診療に参加し, 指導医の指導・監視の下に診察, 治療計画の策定, 診療記録の記載, 医療スタッフへの情報伝達, カンファレンスでの症例プレゼンテーションなどを行います.
- 2) 微生物検査の基礎的手技について実践し, 臨床的判断に応用する.
- 3) 個々の学生の態度・技能・知識の到達度と合わせてチーム内での役割を与え, 能力が向上すればより進んだ役割へと移行します.
- 4) 受け持ち症例と関連づけたミニレクチャーも随時行うようにします.

### • 外来実習

- 1) 発症頻度の高い疾患の問診および身体診察を, 指導医の指導・監視の下に行います.
- 2) 初診患者さんに対して問診聴取した後に, 上級医の診察を見学し, 適切な問診が聴取出来ていたかを確認します.

### • 救急外来実習

- 1) 1次2次救急患者さんの初期対応を, 指導医の指導・監視の下に行います.
- 2) 患者さんに対して問診を行った後に, 上級医の診察を見学し, 適切な初期対応が出来ていたかを確認します.

【週間スケジュール】(例)

	行事, 等	担当	場所	時間
月	病棟回診・実習	チームリーダー	東病棟 8 階	9:00~12:00
	病棟実習		東病棟 8 階	13:00~17:15
火	病棟回診		東病棟 8 階	9:00~12:00
	内科外来実習		内科外来	9:00~12:00
	病棟実習		東病棟 8 階	13:00~17:15
水	病棟回診・実習	チームリーダー	東病棟 8 階	9:00~12:00
	病棟実習		東病棟 8 階	13:00~17:15
	西7カンファレンス			14:00~14:30
木	病棟回診	岡本健志	東病棟 8 階	9:00~12:00
	内科外来実習		内科外来	9:00~12:00
	病棟実習		東病棟 8 階	13:00~16:30
	総合診療科カンファレンス		総合診療科医局	16:30~18:00
金	総診・救急レクチャー	チームリーダー	HCU カンファ室	7:30~8:00
	病棟回診・実習		東病棟 8 階	9:00~12:00
	東 8 カンファレンス	岡本健志	東病棟 8 階 詰所	14:00~14:30
	病棟実習		東病棟 8 階	15:00~16:00
	1 週間の総括	岡本/谷口/広沢	総合診療科医局	16:00~17:15

\*救急搬送患者への対応は随時行いますので上記日程は参考のみとしてください。

【評価】(配点計は 100 点)

評価項目	配点
出席	30 点
知識・技能	30 点
態度(挨拶、言葉使いなど含む)	40 点